

過去から未来へと
いのちをつなぐ狭山池

日本最古のダム式ため池、狭山池。
大阪狭山の子どもたちから募集した「過去から未来へいのちをつなぐ狭山池」を
テーマとした水彩画と、狭山池をテーマにしたアート作品とが、
EXPO 2025 大阪・関西万博会場で融合します。

狭山池バトンアートパーク
7.26(sat)-27(sun)

2025 大阪・関西万博「ギャラリー WEST」

「声と音 Toa」によるハープ演奏と朗読

7.26(sat) 11:30 13:00 15:00 / 7.27(sun) 13:00 15:00

大阪狭山市役所公民連携・協働推進グループ



過去から未来へと いのちをつなぐ「狭山池」

光と風に遊ぶ狭山池

狭山池のほとりを散歩しながら水面を眺めていると、さまざまなイメージが湧き出てくる。太陽の光を受けキラキラと輝き、風がそのきらめきを長いラインの波輪に変化させる。

1400年もの太古から私たちの生活の傍にある大きな器。それはいのちをつなぐだけでなく人々の心も繋いできた。この広大な水面のなかで、どんなドラマがあったのだろうと想像する。

水底まで深く光が差し込むと水面の色が変化する、ゆらゆらと光と戯れたり、おしゃべりしたり、大粒の雨を受け止め龍神の住む水底へと運んだり、、、

龍神伝説を秘めた悠久のロマンがこの大阪狭山の地にはある。過去からそして今へまた未来へと狭山池はいのちをつなぐ。

大阪狭山美術協会会長 小川 幸紅さん

狭山池に思いを馳せイメージした池の色、水のやわらぎを和紙で表現しました。そこに大阪狭山市の子どもたちの狭山池の想いを描いた作品とのコラボレーション、中央には大阪狭山市やその周辺で出土する須恵器で命の器を表現しました。

協力 ARTBOX



アートを通じて地域での文化活動をもっと広めようと美術家・画家・音楽家・陶芸家・書家・朗読家の6人のアーティストにより立ち上げられた制作ユニット。それぞれのアーティストが、個性を活かした発想からつくりあげる現代アート作品は、背景に社会性を含みながらも、観る人が作品と対話することで完成する。現代アートの魅力や面白さを、大阪狭山市に広める活動をしている。



「声と音Toa」による朗読とハープ演奏

7/26 11:30・13:00・15:00から、
7/27 13:00・15:00から(各回20分程度)

朗読するお話

「さやま池龍神伝説」狭山池博物館創作紙芝居
「白い花びら」やえがし なおこ

出演 声と音Toa

小型ハープ&朗読のユニット。
大阪狭山市を中心に、季節・会場・テーマに合わせた作品を発表している。

大阪・関西万博にご来場の皆さんに、大阪狭山市にまつわるお話を届けます。あなただけの想像の世界を是非お楽しみください。



7.26-27
9:00 - 17:00
大阪・関西万博ギャラリーWEST

市民アート展示
狭山池バトンアートパーク
OSAKASAYAMA SAYAMAIKE BATON ART PARK